

# くにたち 公民館 だより



発行  
 国立市公民館  
 〒186-0004  
 国立市中1-15-1  
 ☎ 042-572-5141  
 FAX 042-573-0480  
 休館日：毎週月曜日



これまで読んだことのなかった作家・作品との出会いも  
 (写真は昨年度の様子)

「くにたちブッククラブ」は月に一度、小説を読んで参加者が感想を出し合い、講師のお話を聞いて読みを深めていく講座です。ブッククラブには作品との出会い、同じ場を共有する仲間との出会い、そして作品の感想を交換し合うことで、一人では気付かなかった新たな視点との出会いがあります。

新たな出会い  
 広がる学び  
 豊かなつどい

年齢、性別、仕事、立場をこえてつどい、多様な感想から読みを深められるのもこの講座の特徴です。

今年度のテーマは「時空をこえる言葉」。明治期に書かれた作品から最近の話題作まで、時代をこえ、日常をこえた世界を提示している作品がそろいました。各回講座実施後、参加者の感想を「図書室月報」(毎月5日発行)で紹介いたします。また、年度の終わりにには参加者と一緒に文集を作ります。一年を通してブッククラブを楽しんでみませんか。初めての方も歓迎します(いずれか1回でも参加可)。

この春、新しいことはじめませんか？

## 新年度の講座がスタートします！

長期にわたってじっくり取り組める講座が4月・5月にはじまります。この春、公民館の講座で新たなつながりをつくってみませんか。(1頁、3〜6頁)

## 月に一度の読書会 く に たち ブ ッ ク ク ラ ブ

# 時空をこえる言葉

とき	月日	作 品	講 師
1 / 9 (木)	5 / 9 (木)	川上弘美『神様2011』 (講談社)	幸田露伴『土偶木偶』 (ちくま文庫) 『文豪怪談傑作選』所収
12 / 12 (木)	6 / 13 (木)	夢野久作『押絵の奇蹟』 (ちくま日本文学31)所収	黒田夏子『a b さん』 (文藝春秋)
11 / 14 (木)	7 / 11 (木)	黒井千次『高く手を振る日』 (新潮文庫)	綿矢りさ『蹴りたい背中』 (河出文庫)
10 / 10 (木)	9 / 12 (木)	桐野夏生『ニニカアル』 (新潮文庫)	丸谷才一『輝く日の宮』 (講談社文庫)
9 / 10 (木)	7 / 11 (木)	佐藤 泉(青山学院大学・日本近代文学)	傳馬 義澄(國學院大學 名誉教授・日本近代文学)
8 / 10 (木)	6 / 13 (木)	東郷 克美(早稲田大学 名誉教授・日本近代文学)	山岸 郁子(日本大学・日本近代文学)
7 / 10 (木)	5 / 9 (木)	小平 麻衣子(日本大学・日本近代文学)	榎本 正樹(現代日本文学)
6 / 10 (木)	4 / 9 (木)	金井 景子(早稲田大学・日本近代文学)	紅野 謙介(日本大学・日本近代文学)

とき 夜7時半〜9時半  
 ところ 公民館 3階講座室 定員 30名  
 申込先 公民館 ☎(572) 5141



## 会場

公民館には、市民グループ活動の場として無料で利用できる8つの会場があります。また、ロビーで展示をすることもできます。

ホール 85人 音楽室 20人  
講座室 35人 中集会室 20人  
集会室 30人 小集会室 10人  
実習室 10人 和室 20人

※利用できるのは市内在住、在勤、在学の方で構成される、自主的な活動を行うグループです。個人が主催するもの（指導者が行う教室）や、宗教活動、政治活動、営利に関わる活動では利用することができません。



会場調整会には多くの団体が参加

### ■会場利用調整会 毎月第一土曜日(祝日の場合は翌日の日曜日)

午前10時～、地下ホール。限られた会場をより有効に活用できるように、市民の方々の協力を得て開催しています。

### ■申込み 使用する前月の第一土曜日(祝日の場合は翌日の日曜日)の午後2時～

電話での仮予約もできますが、その場合、後日窓口での本申込み手続きが必要となります。

### ■受付時間 午前9時～午後5時(祝日、年末年始休館を除く)

※月曜日は休館のため電話受付のみ。  
\*詳細は公民館までお問合せください。

## 備品

館内で使うCDラジカセなどの機材の利用ができます。会場と同様、先着順での受付となります。そのほかにスライド、ビデオプロジェクター、ブルーレイ・DVDプレーヤー、液晶モニター、キーボード(電子ピアノ)、16ミリ映写機等を貸出ししています。

印刷機は、市内のグループ活動などの資料作りに利用できます。紙は持ち込みです。インク代等の実費がかかります。

# 学び、つどい、広がる場

## —公民館利用案内—

公民館は市民の文化活動、地域の仲間作りなどのための学習施設です。グループでの会場利用や個人での講座参加、図書室利用などを通じてさまざまな学びを広げることができます。まずはお気軽においでください。

## 公民館の催し



「男性のライフとワークの見直し講座」の様子

講座やイベントなど、公民館の主催する行事は「公民館だより」でお知らせしています(毎月5日発行)。国立市役所ホームページ内の公民館のページでもご覧になることができます。または公民館までお問合せください。お答えいたします。

サークル活動に参加したいという方のために、サークルの紹介も行っています。館内にもサークル紹介を掲示していますので、ご覧ください。

## 公民館図書室

図書室には約2万4千冊余りの本と、日本語・外国語の新聞、雑誌があります。公民館活動、市民活動の資料室としての役割も持っています。そのほか、本と人をつなぐ「図書室月報」を発行しています。

国立市内在住、在勤、在学者および国分寺と府中市民の方が利用できます。

初めて借りる方は住所を確認できるものをお持ちください。図書利用カードは図書館と共通です。

開室時間 火、木、金、日、祝日  
：朝9時～夕5時  
水曜日、土曜日  
：朝9時～夜8時

休室日 毎週月曜日と年末年始

## その他の設備

公民館ではどなたでも安心してご利用いただけるように、次のような設備も備えています。

段差解消機(図書室中2階や1階ロビーに移動する時にお使いください)、オストメイト対応トイレ(2階)、授乳室(2階。おむつ交換もできます)などがあります。



〈古典への招待〉

# 『方丈記』を読む

講師 水島 英己 (東京純心女子学園他講師、詩人)

『方丈記』は400字詰め原稿用紙に換算してわずか20枚と少しの小さな「随筆」です。書かれてから800年を経過して、なお読み続けられている理由はどこにあるのでしょうか。『方丈記』には動乱の転換期に生きる生身の人間の姿が偽りなく描かれています。五大災厄のリアルな報告も含めて、小さいけれど触れると爆発しそうな、今でも新しい「古典」を、一緒に講読しましょう。

〈使用するテキスト〉鴨長明『方丈記』(現代語訳付き、築瀬一雄訳注、角川ソフィア文庫)をご用意ください。

とき 4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日(全5回)

いずれも木曜日 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 30名(先着順)

申込先 4月9日(火)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈女性の生きかたを考える講座〉

## 仲間と学び、考え、ふみだそう一歩!!

一人の大人として、同じ地域に暮らす女性たちと一緒に学び合う時間を持ちませんか。

女性が生きていくときに向き合う課題について、「自分はこのままで良いのだろうか…」そう感じたことはありませんか。参加者どうして話し合うことで、新しい考え方やものの見方を発見し、次のステージを見つめてみましょう。

大人が学んでいる間、子どもは保育室であずかります。保育室では子どもたちの成長を大事にしています。

〈取り上げるテーマ〉

- ・地域に暮らす先輩に話を聞こう
- ・わたしの生きかた、みんなの生きかた
- ・こころとからだをみつめる など

講師 池谷 美衣子 (筑波大学)

堀本 麻由子 (東海大学)

富永 貴公 (東海大学講師) ほか

とき 5月16日～7月18日(全10回)

毎週木曜日 朝10時～12時

ところ 公民館 3階集会室

定員 20名(年齢不問、先着順)

申込先 4月11日(木)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

保育 子ども定員10名(先着順)。講座と同時に申し込んでください。保育室オリエンテーションを5月9日(木)朝10時から行います。子どもと一緒に公民館へおいでください。おやつ代250円(10回分)をお持ちください。

※保育室の利用は、市内在住の方に限ります。



〈図書室のつどい〉

## 東京多摩の団地にみる戦後思想史

—中央線と西武線の沿線比較から—

講師 原 武史 (明治学院大学・日本政治思想史)

講談社ノンフィクション賞を受賞した『滝山コミュニケーション一九七四』(講談社)から5年。著者の原さんは西武線沿線をはじめ首都圏や関西の「団地」を研究した成果を、昨年2冊の本にまとめられました。

高度成長期に輝いていた団地文化とは何だったのか? 団地に40年以上住み続けた原さんは、戦後初期の団地に躍動した自治活動や住民の革新的な政治意識を明らかにします。多摩地域では中央線沿線の「知識人」たちを核とする無党派の市民運動と、西武線沿線の支持基盤を新中間階層へ移そうとしていた革新政党が仕掛ける運動とがあり、いずれも沿線の立地と深く連動していたことが考察されます。

その後、コミュニティ志向の衰退と個人主義の台頭に至る団地文化の歴史研究から、今日の団地の高齢化や孤独死問題が生じた淵源を考えてみたいと思います。

〈原さんの本〉『レッドアローとスターハウス』(新潮社)、『団地の空間政治学』(NHK出版)ほか。

とき 4月20日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール \*ご自由においでください。

〈身体表現ワークショップ〉

## からだであそぼう

—リラックスダンスから舞台表現へ—

のびのびとからだを動かして、自分を表現してみませんか? まずは深呼吸してからだをほぐし、自分のイメージを豊かに表現していきます。毎回、音楽やもの、仲間などいろいろなヒントを使って楽しみながら形にしていきます。

こころもからだも柔らかくして自分の可能性を開放し、仲間と楽しく作品を作りましょう。全8回の講座の最後には、青年室のクリスマス会で作品を発表します。

ファシリテーター 大川 あじさい

(多摩美術大学卒。アーティスト。身体・絵画・立体ほか、表現のジャンルを問わず活動。AIR-空-パフォーミング・アーツ研究会所属。公民館内の喫茶「わいがや」スタッフ)

とき 5月25日、6月29日、8月24日、9月28日、10月26日、11月23日、12月14日、15日(全8回)

土曜日 昼2～4時

(※7月はお休み、12月15日は日曜日で発表会)

ところ 公民館 地下ホール

対象 身体を使って表現すること、しょうがいがある人と一緒に舞台を作ることに関心がある方。年齢・国籍・性別・しょうがいの有無は問いません。

\*しょうがいがある方は、後日面談をする場合があります。

定員 20名(先着順)

申込先 4月10日(水)朝9時～5月23日(木)夕5時

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

# しょうがいしゃ青年教室

しょうがいしゃ青年教室は、しょうがいがある若者とない若者が共に活動して、お互いに学び合う場をつくることを目的にした青年教育事業です。一緒に活動するメンバーを募集します。

3月はみんなで合宿へ(行きまして)  
(富士サファリパークにて)



右記の7つのコースに分かれ、年に6～10回程度活動します。いずれかのコースを選んで参加できます。

また、全体での活動(クリスマス会、合宿など)も年に数回あり、希望に応じて参加できます。

**期間** 5月～来年2月。月1～2回程度

**対象** 市内在住・在学・在勤の学校卒業後～30歳くらいまでのしょうがいしゃ手帳を持つ方  
\*共に活動するスタッフも募集中!

**申込先** 4月12日(金)までに、朝9時～夕5時の間に来館または電話で担当までご連絡ください。

公民館 2階受付 ☎(572) 5141

※受付時間内に来られない方は早めにお電話ください。

※コースの参加人数にはそれぞれ定員がありますので、ご希望にそえない場合もあります。

## ◆各コースの活動内容(活動日時は変更の場合あり)

**スポーツ:**市内体育館でさまざまなスポーツに挑戦します。

第1 金曜日の夜6時半～8時

**企画会議:**みんなが楽しめる企画を話し合い、実行します。

第2 金曜日の夜7時半～9時

**クラフト:**毎回一つオリジナルの作品を作ります。

第4 金曜日の夜6時半～8時

**リトミック:**音や音楽のリズムに合わせて体を動かします。

第2 土曜日の昼2時～4時

**料理:**さまざまなカレーをこだわって作ります。

隔月第3 土曜日の夕5時半～8時

**喫茶実習:**公民館内の喫茶わいがやで喫茶体験をします。

開店時と希望日時を調整して日程を決めます。

**陶芸:**毎月第1・3土曜日の午後 ※下段参照

第58回 くにたち市民文化祭

## 文化祭を一緒に作りましょう!

### 第1回実行委員会を行います

秋の市民文化祭に向けて、実行委員会を立ち上げて準備に入ります。

文化祭は、グループ活動や美術、伝統文化、芸能など、日ごろの活動の成果を発表する場です。文化の交流で、地域の仲間を広げてみませんか。

市民文化祭を一緒に盛り上げ、地域での豊かなつながりをつくりましょう。

多くのグループ、個人の参加をお待ちしています!

#### 第1回 文化祭実行委員会

**とき** 4月25日(木)夜7時～

**ところ** 公民館 3階講座室

**連絡・問合せ先** 公民館 ☎(572) 5141

\*実行委員会は全4回開催予定です。

## 作って、話して、陶芸講座

～陶芸を通して交流を楽しもう～

この講座は滝乃川学園の協力を得て、しょうがいがある若者との交流を目的としながら、公民館にある喫茶「わいがや」で使う食器などを作ります。

講座終了後は、公民館1階の市民交流ロビーで、作品展を開きます。関心のある方の参加をお待ちしています。

**講師** 木村 富美枝、大野 博美

**とき** 5月18日～11月16日(全10回)

第1・3土曜日 昼2時～4時

(※8月は休み、11月は16日のみです)

**ところ** 滝乃川学園成人部作業棟 2階陶芸室

※初回は公民館1階青年室で説明会を行います。

**対象** 原則全回参加できる方(18歳以上)

**定員** 10名(先着順)

**申込先** 4月13日(土)朝9時～

公民館 ☎(572) 5141



若者の「働く」と「自立」を応援するために！  
**保護者のためのキャリアセミナー**

お 話 井村 良英

(NPO法人「育て上げ」ネット地域担当部長)

家族以外の人との接点が少ない「社会的ひきこもり」や、ニート・フリーターの若者が増えています。

保護者や家族として何ができるでしょうか。進学・就職・自立を見据えて今できること、今からできることを、若者の就労支援に向き合ってきた講師と一緒に考えます。

と き 4月20日(土) 朝10時~12時

ところ 公民館 3階講座室

定 員 30名(定員を超えた場合は抽選)

申込み ハガキ(〒186-0004 国立市中1-15-1 国立市公民館宛)またはFAX(573-0480)で、①お名前、②住所、③電話番号、④井村さんに聞きたいことを明記してお送りください。

シネボックス 公民館シネマトーク  
**『わが心の銀河鉄道 宮沢賢治物語』**  
 『わが心の銀河鉄道 宮沢賢治物語』製作委員会  
 1996年 カラー 111分

監督 大森一樹 脚本 那須真知子 撮影 木村大作

音楽 千住明

出演 緒方直人、水野真紀、渡哲也、星由里子、椎名桔平、袴田吉彦、原田龍二、斉藤由貴ほか

宮沢賢治生誕100年記念映画。大森一樹監督は、37歳という若さで夭折した宮沢賢治の生涯を、花巻の自然と美しく幻想的な賢治の童話のイメージを重ね合わせながら、みずみずしくさわやかな青春映画として描き出しました。

と き 4月28日(日) 昼2時~

ところ 公民館 地下ホール

定 員 85名(当日先着順)

\*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

せいかつ  
**生活のための**  
 にほんごこうぎ  
**日本語講座**



生活に必要な日本語を学びます。日本語のレベルに合わせて勉強できます。小さな子どもがいる方は、子どもをあずけて勉強できます(市内に住んでいる方)。**くわしいことは公民館までお問合せください。公民館 ☎042(572)5141**

曜日 時間	火曜日 Am.10:00~11:30	火曜日 Am.10:00~11:30	火曜日 Pm.6:30~8:00	水曜日 Am.10:00~11:30	水曜日 Am.10:00~11:30	木曜日 Am.10:00~11:30	木曜日 Am.10:00~11:30
コース	入門	初級Ⅱ	夜の部・会話	初級Ⅰ	会話	入門	初級Ⅱ
対象	これから勉強を始める方	日本語で簡単な会話ができる方	日常生活を学びたい方	ひらがなの読み書きができる方	日常生活を学びたい方	これから勉強を始める方	日本語で簡単な会話ができる方
講師	もり けいこ 森 恵子	かわむら ふたば 河村 双葉	おおの ひろこ 大野 宏子他	てらお みえこ 寺尾 三枝子	ひらさわ のぶお 平澤 伸雄他	もり けいこ 森 恵子	やまもと せいこ 山本 誠子
開始日	5月7日~	5月7日~	5月7日~	5月8日~	5月8日~	5月9日~	5月9日~

※各曜日の午前の講座終了後と土曜日 Am.10:00から、ボランティアによる会話練習のサポートがあります。

場所 公民館  
 定員 各コースとも15人くらい  
 費用 テキスト代 2,500円くらい  
 申込先 公民館2階窓口で申込んでください。  
 火曜日~金曜日 Am.9:00~Pm.5:00(祝日を除く)

**Japanese language needed in daily life**  
 Japanese Language classes for people from abroad will start on May, 2013 at the Kunitachi Kouminkan. For more information, please call 042-572-5141 (Kouminkan).

**生活日本語講座**

以外国人为对象的日本語講座将在5月开课。  
 详细情形及事项请直接询问公民馆。  
 电话 042-572-5141

**外国人を 위한 日本語 강좌**

外国人을 대상으로 하는 日本語 강좌를 5월부터 시작합니다. 자세한 내용 및 신청방법에 대해서는 직접 공민관 (전화042-572-5141)으로 문의해 주시기 바랍니다.

**にほんごおしゃべりサロンを開設します!**

「生活の情報が知りたい」、「日常生活で困っていることを相談したい」、「日本語でたくさん会話がしたい」という方はぜひきてください。(1回目は5月7日)  
 時間 基本的に第1・3火曜日 Pm. 3:30~5:30  
 場所 公民館 ☎(572)5141

※運営をサポートしてくれる日本人のボランティアも募集中です。詳しくは公民館までお問合せください。

〈高齢者学習講座〉地域で仲間づくり!  
**シルバー学習室**



1年間を通してさまざまなことを学びながら、同じ市内に暮らす仲間との交流を深めていく講座です。終了後には同窓会「心遊会」に参加して、サークル活動を続けることもできます。

春から新しいことに挑戦してみたい方、市内での仲間づくりをしたい方、ぜひご参加ください!

とき 5月8日～来年3月5日 毎週水曜日 朝10時～12時

ところ 公民館 3階集会室ほか(料理は福祉会館)

定員 25名(市内在住で、年間を通して参加できる方)

申込先 4月10日(水)朝9時～ 公民館 ☎(572) 5141

《主な内容》

◆健康を考えた手軽な料理

高血圧や骨粗しょう症予防の食事などを作ります。

講師 北川 みどり(管理栄養士)

◆くにたちの自然に目をむける(自然観察)

市内を歩いて、春と秋の植物を学びます。

講師 神成 カネ(なすなの会)ほか

◆三原色で絵が描ける(水彩画入門)

初心者でも描きやすい「キミ子方式」で水彩画に挑戦します。

講師 松本 キミ子(女子美術短期大学)

◆音を楽しみながら体を動かす(リトミック)

軽い運動をしたり歌を歌って、心と体をほぐします。

講師 濱谷 紀子(同志社女子大学)

◆くにたちの昔の暮らしを知り、時代を振り返る(歴史)

昔の道具や食事から、国立の歴史を学びます。

講師 佐伯 安子(くにたちの暮らしを記録する会)

◆高齢者の生活を考える(リクエスト講座)

高齢者福祉制度や市内の高齢者グループの活動など、皆さんが学びたいことを取り上げます。

\*各コースの間には懇談会を行います。

《社会体育事業》

「小学生の初心者水泳教室」参加者募集

とき 5月22日(水)、29日(水)、30日(木)、  
6月5日(水)、6日(木)、12日(水)、19日(水)、  
20日(木)(全8回)いずれも夕4時～6時

ところ 総合体育館 室内プール 費用 無料

指導員 国立市スポーツ推進委員 保坂智子ほか

対象・定員 市内在住・在学の小学4・5年生…各10名、  
6年生…20名。計40名

※申込み状況により各人数は増減します。

応募者多数の場合は抽選。

「初心者バドミントン教室」参加者募集

とき 5月13日(月)、16日(木)、20日(月)、27日(月)、  
30日(木)、6月6日(木)(全6回)  
いずれも朝9時半～11時45分

ところ 総合体育館 第1体育室

指導員 国立市スポーツ推進委員 遠田マチ子ほか

対象・定員 市内在住・在勤の初心者 40名

※応募者多数の場合は抽選。はじめて参加する方優先。

費用 保険料1日につき150円、シャトル代千円

《事業の申込み方法》

申込み 往復はがきの往信用裏に氏名(フリガナ)・性別・年齢(水泳教室は学年も)・住所・電話番号を、返信用表に住所・氏名を記入してください。

※はがき1枚につき1名。複数名の応募・記載漏れの場合は無効。4月30日(火)必着

申込先 〒186-8501 国立市教育委員会 生涯学習課

「小学生の初心者水泳教室」係  
または「初心者バドミントン教室」係

\*社会体育事業の問合せは、教育委員会 生涯学習課社会教育・体育担当 ☎(576) 2107(直通)まで

平成25年度 社会体育事業年間予定

\*詳しくは「公民館だより」の紙面等でお知らせします。  
予定ですので、事業等を変更する場合があります。

	事業名	回数
こども向け	小学生の初心者水泳教室	8回
	小学生のテニス教室	3回
	小学生の水のサバイバル教室(着衣泳)	3校
	キッズフットサル教室	6回
	スポーツ子どもの日	1回
おとな向け	初心者バドミントン教室	6回
	みんなの水中運動&水泳教室	8回
	60歳からの健康体操教室	8回
	スポーツを安全に楽しむための講習会	1回
	街を・山を歩く	4回
	トレッキング教室	5回
ファミリー向け	ミニ体力測定会	1回
	【ファミリーフェスティバル内】	
	ファミリーアウトドア教室/ソフトボール教室/タグラグビー教室	各1回
	みんなの卓球教室	1回
	出張健康体操教室	5回まで



みんなで考えよう！ 地域ケアの未来  
孤立しない・させない  
高齢社会を支える地域の「絆」づくり

ゲストスピーカー 猪飼 周平 (一橋大学)  
事例紹介 高齢者支援課職員

超高齢社会に向かう現在、市内で実際に起きている具体的な事例を考えながら、そこに隠されている地域コミュニティの課題に対して私たちはどう解決していくことができるのか、皆さんと考えていく講座の2回目です。

グループに分かれて話し合い、誰もが安心して暮らせる地域のために、これからの「絆」のカタチを探っていきます。今回からの参加も歓迎！

とき 5月12日(日) 昼2時～5時

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(先着順)

申込先 4月9日(火) 朝9時～  
公民館 ☎ (572) 5141

共催 高齢者支援課



# ひろば

(8ページにもあります)



天満宮の大樫  
—谷保天満宮—

撮影 高松哲夫さん(北)

## ガールスカウト東京都第145団

就学前一年(年長)と小学低学年の少女を募集します。さまざまな体験を積み重ね、自ら考え行動できる人となることを目指します。見学可能です。ご連絡ください。  
日時 毎月1～2日 日曜日午前中  
場所 公民館ほか  
連絡先 秋山(575) 2713

## パソコンフレンズ会員募集

初心者レベルから中級レベルまでの実力を養成できる学習サークル。趣味や就職、転職にも対応できる内容です。親睦を兼ねて楽しく一緒に学びませんか。  
日時 月3回 日曜日昼2時～  
場所 公民館3階講座室(予定)  
連絡先 榎田(576) 4391

## 「国立水泳会」新年度会員募集

健康な身体づくりとストレス解消に、水泳を始めませんか。初心者から競泳志向の方まで、泳力別にコーチの指導を受け快適な汗を流しています。体験にどうぞ。  
日時 毎週火曜日 夜7時～9時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 山田(573) 5013

## 水泳「とびうお」会員募集

春です。新しいことに挑戦してみませんか？ 女性コーチの指導で初級・中級・上級に分かれて泳ぎます。会員は女性のみ。親切にお教えします。体験水泳可。  
日時 毎週火曜日 昼12時～2時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 斉藤(572) 8336

## 水泳クラブ「かるかも」会員募集

10年先も今の元気を維持したい。公認コーチの指導のもと、会員の相互親睦をはかりながら水泳の上達をめざします。初心者・上級者。年齢性別不問。体験可。  
日時 毎週火曜日 昼2時～4時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 榎本(575) 5181

## くにたちフォトサークル

第30回写真展 記録から記憶へ 国立を撮り続けて四十年余り、白黒からデジタルへと変わった中で、たくさん写真がわが町の貴重な記録となって残りました。  
日時 4月23日(火)～28日(日)  
場所 公民館 1階ロビー  
連絡先 佐藤(575) 3086

## ダンスサークルへのお誘い

社交ダンスで楽しく身体を動かしませんか。運動不足解消にはもってこいです。女性大歓迎。まずは見学を。国立ダンスメイト  
日時 毎週金曜日 夜7時～8時半  
場所 福祉会館 4階大ホール  
連絡先 斉藤(522) 8533

## 剣道会員募集 国立剣道連盟

剣道で心身を鍛えよう！ 小学1年生～成人男女を募集。随時受け(練習時間内)。初心者歓迎。  
練習日 (日)朝9時～12時、(水)夜7時～9時  
場所 第五小学校 体育館  
連絡先 網谷(574) 8214

## 国立市 春季バレーボール大会

女子の部 (9人制)  
日時 5月12日(日)朝9時～  
場所 総合体育館  
主将会議 4月26日(金)夜7時～  
連絡先 矢口090(2425) 2319

## 男子の部 (6人制)

日時 5月26日(日)朝9時～  
場所 総合体育館  
連絡先 佐土原(575) 7661

## 第177回くいしんぼクラブ

任継鴻さんの中国料理  
お得意の豚肉の長寿蒸しを教えてください。材料費800円。ふきんとゴミ袋をご持参ください。  
日時 4月21日(日)昼1時～  
場所 福祉会館 3階料理講習室  
連絡先 八宮(571) 1007

## 公民館運営審議会報告

3月12日(火) 第5回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名が出席。傍聴1名。  
前回の議事録確認  
報告事項

○公民館だより編集研究委員会  
「ポスト3・11」は重要なテーマなので、もう少し読ませる工夫を見出し、写真の工夫が良い。  
○社会教育委員の会  
学校支援の方策の答申をまもなく完成させる。

○東京都公民館連絡協議会  
2月17日(日) 国立市公民館で「厳しい財政状況の中での公民館運営」というテーマで委員部会研修会を行った。約50名参加。  
◎諮問について  
館長から「現代の地域社会に求められる公民館の事業について」諮問があった。

◎その他  
○社会教育委員の会委員と、東京都公民館連絡協議会委員部会委員の選任を次回行う。  
○審議会終了後、一般市民も参加して開かれた社会教育学習会に参加。文部科学省の伊藤学司氏による講演「地域コラボレーションの時代」と、「未来の公民館を創る人たち」をテーマに4名の方々による実践活動報告、質疑応答があった。

次回は4月9日(火) 午後7時15分から。傍聴歓迎。(長田)

# ひろば

(7ページにもあります)

## 「もつひとつの奥入瀬」上映会

健康児としょがい児が共に活動する施設「雑木林」を12年にわたり追った記録映像。定員40名。お話附田博監督。無料。申込不要。  
日時 4月27日(土)昼2時〜4時  
場所 公民館 地下ホール  
連絡先 藤代090(794) 1459

## 6月分の会場申込み開始日がいっつもより早まります!

会場調整会参加申込書の投入期限・4月25日(木)、会場調整会・4月27日(土)午前10時、受付開始。同日午後2時。ご注意ください。

## 国際友好会 WING

4月のWING異文化コミュニケーションの会は、留学生のパラさんをお招きしてポーランドの文化について話し合います。参加費100円。  
日時 4月25日(木)夜7時〜  
場所 一橋大学内 国際交流会館  
連絡先 芦沢(576) 0474

## 石井亮一・筆子を読む会

滝乃川学園の創立者夫妻の著作を読む会です。新年度は大正10年8月に群馬県の四方温泉を夫妻が療養に訪れたことを記した、筆子作「四万日記」から始めます。  
日時 4月20日(土)昼2時〜4時  
場所 石井亮一・筆子記念館  
連絡先 事務局070(506) 3459

## くにたち写遊会・写真展

公民館で写真展を開催しています。顧問は全日本写真連盟の日橋先生です。年間活動の写真、課題写真を展示していますのでぜひお越しください。会員も募集中です。  
日時 4月2日(火)〜9日(火)  
場所 公民館 1階ロビー  
連絡先 松永(573) 7915

## くにたちさくら音楽隊演奏会

一部は若手プロミュージシャンのスペシャルビックバンドと一緒に歌って演奏する子ども向け無料音楽会。二部は大人向けのおなじみの曲を演奏(有料)。  
日時 4月6日(土)一部昼12時〜、二部2時  
場所 芸小ホール  
連絡先 向井090(453) 6456

## 地域通貨ってなあに?!

ドイツの作家エンデは現代の金融システムが引き起こす弊害に警鐘を鳴らしました。地域通貨はその対策となるか、ゲームで体験します。資料代500円。  
日時 4月14日(日)1時45分〜5時  
場所 公民館 3階集会室  
連絡先 スペースF(573) 4010

## くにたち市民オーケストラ

第35回ファミリーコンサート。グループ「パール・ギユント」第一組曲、アンダーソン曲集、ブラームス交響曲第二番。指揮 佐々木新平。入場無料。  
日時 4月21日(日)昼2時開演  
場所 一橋大学 兼松講堂  
連絡先 事務局080(544) 9292

## 〈サークル訪問250〉

### 少林寺拳法 法国国立中支部

総合体育館に取材に伺うと、どの練習生(拳士という)からも合掌の礼で挨拶される。その礼儀正しさがまず印象的である。

会場には元気な子ども拳士が多い。小学生(年少部)が40人、中学生以上の一般部が30人ほどいるそうであるが、稽古前に年少の拳士が進んで床の雑巾がけや座禅を行っている姿に感心させられた。これはもう修行の場である。

指導者の武田俊治氏(正範士7段)は、こう言われる。

「ここでの稽古は、技の習得だけでなく、集団での修養を通じ青少年の育成を目指しています」  
そのねらいは、拳士全員によく



「エイッ!」勇ましい拳士のかげ声

浸透しているようだ。30年前10人で発足した支部が、今は下は6歳から上は65歳までの70人で協力して修練に励んでいるのである。一例をあげれば、年少者の基本の稽古(突きや蹴り)に、年長者が個々について見守り、指導する姿である(写真)。こういう世代を超えた鍛錬は、最近では珍しいものである。

小学生の拳士に付き添ってきた、ある奥さんはこう話してくれた。「うちの娘は、このお稽古には進んで来ますよ。それに技が身に付くと、本人に自信が付くようです」

人の触れ合いと武道の一種の格好良さが、子どもにも受けているのだろう。護身の拳法であることも、女子の多い理由かもしれない。年少部の稽古は1時間で終了し、あと2時間ほどは一般部の稽古に移る。武田氏が手本を示してから、2人ずつ向き合っている修練で、多くが有段者だけに、技も高度で本格的であった。毎年7月に都の大会に出場し、成績優秀者は全国大会にも出ているそうである。

稽古日は、週2回(水、土)の午後6時〜9時であるが、年少部は土曜のみとのこと。

連絡先 武田090(161) 5766

〈文・写真 武内法行〉